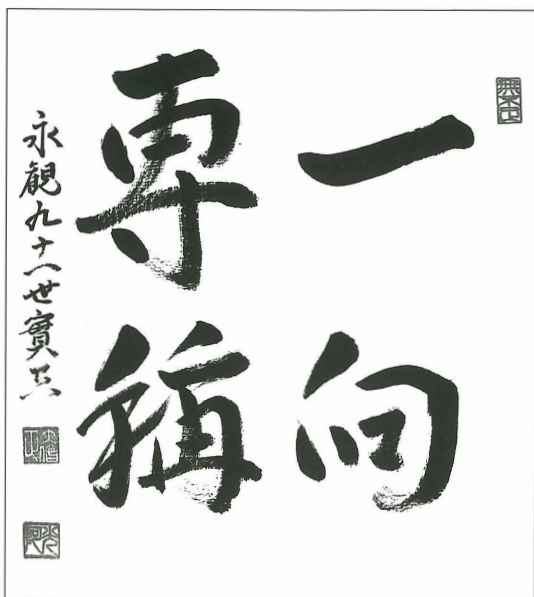


一向専称



われ浄土宗を立つる意趣は、
凡夫の往生を示さんがためなり

『一期物語』

凡夫と聞くと、ただ凡庸な人と思われていますが、深い意味があります。人は誰しも自分が可愛くて、自分の幸せを最優先しています。そのために人とぶつかることばかりです。

なぜ「自分ばかりが損をする」、なぜ「自分ばかりが苦しむ」と、「自分」に囚われている人を「凡夫」というのです。

悲しいかな、わたしたちはどこまでいっても、自分が愛おしくてどうにもなりません。そのために絶えず貪り、怒り、何一つ大切なことがわからずに、いつも迷っています。いくらお釈迦様が心を平安にする方法を教えて下さってもどうしようもないのです。

ただひとつ阿弥陀様の本願に乗せられてこそ、平安を得ることができる、法然上人は浄土の教えを開かれたのです。

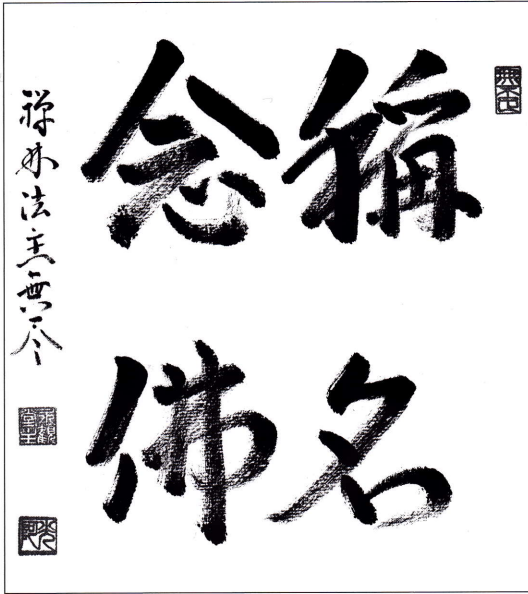
令和六年は立教開宗八五〇年

総本山 永観堂 禅林寺

右の色紙は管長久我儼昭猊下のご染筆です。前々号の色紙は、滋賀県大津市在住山極波江様に進呈します。ご希望の方は八方主で住所氏名希望号数を明記の上下記へお申し込み下さい。抽選し一名に進呈。



称名念佛



お念仏は心で念おもうもの？ 称なえるもの？

『十二問答』

大麥信仰心の篤い檀家のご婦人がおられます。

いつも熱心にお参りをされますが、「南無阿弥陀仏」と声に出して称える姿を見たことがありませんでした。その理由を尋ねると「周りにお人がいると恥ずかしい」とのことでした。

「お念仏は、南無阿弥陀仏と声に称える方がよいか、心に阿弥陀仏を念じる方がよいか。」

と、ある人が法然上人に尋ねると、「どちらも往生できますが、ただ、阿弥陀さまは、『私の名を声に出して称えてくれよ』とおっしゃられたので、声に出して称えることが仏の願いにかなうことですよ。」とお勧め下さいました。

令和六年は立教開宗八五〇年

総本山 永観堂 禅林寺

右の色紙は管長久我儼昭猥下のご染筆です。前々号の色紙は、愛知県豊明市在住吉田真一郎様に進呈します。ご希望の方は八ガまで住所氏名希望号数を明記の上、下記へお申し込み下さい。抽選し一名に進呈。



出世本懐



立教開宗

法然上人が、九条兼実公の別邸に行ったときに、一人の僧と会った。

その僧が、法然上人に「浄土宗を立てられたのですか」と尋ねたら、「はいそうです」と返答をされた。「では、浄土宗を立てる依り所にされたのは、どの経文ですか」と聞いたので、法然上人は「善導大師が書かれた観経疏の中の一文によってです」と答えた。

その文とは、「お釈迦さまは観経の正宗分で、その利益を説いたのだが、阿弥陀仏の本願に合わせると、お釈迦さまの真意というの、衆生に対して阿弥陀仏の名を称えさせることにある」という文を指す。

つまり、お釈迦さまがこの世に誕生されて、本当にお説きになりたかったのは、人々に「南無阿弥陀仏」と称えさせることだったのだ。

お釈迦さまの真意をわかったことで、法然上人は念仏往生の確信を持って立教開宗をされた。

令和六年は立教開宗八五〇年

総本山 永観堂 禅林寺

右の色紙は管長久我儼昭猊下のご染筆です。前々号の色紙は、愛知県刈谷市在住早川勝美様に進呈します。ご希望の方は八ガまで住所氏名希望号数を明記の上、下記へお申し込み下さい。抽選し一名に進呈。

